

第1回養老町食肉基幹市場建設候補地検証委員会 議事録概要

日 時	令和6年10月11日（金） 9時00分～12時00分	
場 所	養老町役場 3階第2会議室	
内 容	1. 町長あいさつ 2. 委嘱状の交付 3. 委員長の選出 4. 委員会開催スケジュールと内容 5. 検証資料の説明 6. 現地確認 7. 候補地の適性の検証	
出席者	【養老町】 養老町長 川地 憲元 産業建設部新食肉基幹市場建設整備対策監 大倉 修 産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室長 竹中 修 産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室長補佐 杉野 雄士 産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室主査 伊藤 寛也 産業建設部産業観光課新食肉基幹市場建設推進室主任 渡辺 祐貴 【委員等】 大阪大学 特任准教授 小出 直史 信州大学 副学長 林 靖人 九州大学 教授 馬奈木 俊介 朝日大学 准教授 中垣 勝臣 エヌエス環境株式会社 中村 稔 エヌエス環境株式会社 吉田 大輔 エヌエス環境株式会社 河辺 勇治	
会 議 内 容 要 約		
1. 町長あいさつ 養老町の紹介、食肉基幹市場建設事業の概要の説明があった。検証委員会の設置の目的についての話があり、町協議会での検討内容や審議プロセス、決定した候補地の妥当性について客観的な意見をいただきたいと伝えた。		
2. 委員およびオブザーバーあいさつ それぞれの専門分野に触れて自己紹介があり、検証委員会では各専門性や経験知を生かして検証や提案をしたいとのあいさつがあった。		

3. 委員長の選任

委員の互選により、信州大学の林副学長が委員長に選任された。

4. 委員会開催スケジュールと内容

委員会は、全4回を予定しており、各回の検討・審議内容（予定）について共有した。

5. 検証資料の説明

候補地選定の基本的な考え方や候補地選定の流れ、スクリーニングなどの内容を資料に沿って説明し、町協議会の設置や主要条件を中心とした候補地の比較検証について、候補地決定までのすべての取り組みについて情報共有を図った。

6. 現地確認

4つの候補地に関して、候補地の現況および周辺の施設、道路などの状況を現地にて確認した。

7. 候補地の適性の検証

検証資料や現地確認を踏まえて、委員およびオブザーバーから下記のとおり、意見や提案があった。

① 説明資料の簡略化の必要性

事業の目的や内容を明確に伝えるため、複雑なデータは資料編にして、簡単な「1枚もの」や○×形式の資料で、個人や町全体のメリットを視覚的に表現する資料を用意するよう提案があった。

② 行政の決定プロセス

町協議会を設置し、候補地を決定した検討過程について地域から様々な意見があるが、他地域等における公的施設の建設事業事例を確認し、行政の決定プロセスとしての違いがないことを確認できるように提案があった。

③ 住民とのコミュニケーション

繰り返し、意見交換会や説明会を行い、多くの住民との対話を重ねることが重要であること、特に遠方の住民や異なる世代にも丁寧な説明が必要との意見があった。
また、食肉基幹市場が建設されることが養老町や地域にどのような未来をもたらすか、どのように活用するかについて住民との対話が必要であるとの意見が出された。

④ 第三者の視点

住民との意見交換会においては、第三者（例えば、地元大学の専門家など）を入れて中

立的な立場から会を運営すること、特定の人たちだけでの対話ではなく、フラットな場で意見交換がされるように場づくりをすることが提案された。

⑤ 地域資源を活かした活性化

本事業は、焼肉街道や養老町の地域資源を活かすため、町全体のブランディングや活性化を目指すために町の施策として取り組む事業であることを明確化するよう提案があった。

⑥ 候補地の適性検証

複数の候補地から4つの候補地が選定され、さらに4つの候補地から「現：岐阜製油協業組合」の場所が最有力地とされた経過について、判断基準とした法制度および環境等の考慮事項の設定は妥当であり、基準に基づいて判断した結果についても合理性や信頼性があることが委員全員の共通認識として示された。

以上